

貸借対照表

(平成29年3月31日現在)

東大阪市[一般会計等]

(単位:百万円)

| 科目 | 金額 | 科目 | 金額 |
|---------------|-----------|----------------|-----------|
| 【資産の部】 | | 【負債の部】 | |
| 固定資産 | 447,280 ※ | 固定負債 | 203,121 |
| 有形固定資産 | 411,602 ※ | 地方債 | 183,766 |
| 事業用資産 | 268,271 | 長期未払金 | 0 |
| 土地 | 213,982 | 退職手当引当金 | 16,118 |
| 立木竹 | 0 | 損失補償等引当金 | 468 |
| 建物 | 127,124 | その他 | 2,769 |
| 建物減価償却累計額 | △ 73,261 | 流動負債 | 21,189 |
| 工作物 | 2,049 | 1年内償還予定地方債 | 17,934 |
| 工作物減価償却累計額 | △ 1,623 | 未払金 | 76 |
| 船舶 | 0 | 未払費用 | 0 |
| 船舶減価償却累計額 | 0 | 前受金 | 0 |
| 浮標等 | 0 | 前受収益 | 0 |
| 浮標等減価償却累計額 | 0 | 賞与等引当金 | 1,823 |
| 航空機 | 0 | 預り金 | 612 |
| 航空機減価償却累計額 | 0 | その他 | 744 |
| その他 | 0 | 負債合計 | 224,310 |
| その他減価償却累計額 | 0 | 【純資産の部】 | |
| 建設仮勘定 | 0 | 固定資産等形成分 | 467,593 |
| インフラ資産 | 141,952 ※ | 余剰分(不足分) | △ 221,293 |
| 土地 | 114,198 | | |
| 建物 | 890 | | |
| 建物減価償却累計額 | △ 473 | | |
| 工作物 | 64,351 | | |
| 工作物減価償却累計額 | △ 37,544 | | |
| その他 | 777 | | |
| その他減価償却累計額 | △ 246 | | |
| 建設仮勘定 | 0 | | |
| 物品 | 6,974 | | |
| 物品減価償却累計額 | △ 5,595 | | |
| 無形固定資産 | 1,594 | | |
| ソフトウェア | 1,594 | | |
| その他 | 0 | | |
| 投資その他の資産 | 34,084 | | |
| 投資及び出資金 | 7,075 | | |
| 有価証券 | 0 | | |
| 出資金 | 7,075 | | |
| その他 | 0 | | |
| 投資損失引当金 | △ 384 | | |
| 長期延滞債権 | 3,895 | | |
| 長期貸付金 | 18,269 | | |
| 基金 | 5,440 ※ | | |
| 減債基金 | 804 | | |
| その他 | 4,637 | | |
| その他 | 0 | | |
| 徴収不能引当金 | △ 212 | | |
| 流動資産 | 23,330 | | |
| 現金預金 | 2,277 | | |
| 未収金 | 828 | | |
| 短期貸付金 | 1,489 | | |
| 基金 | 18,825 | | |
| 財政調整基金 | 15,619 | | |
| 減債基金 | 3,206 | | |
| 棚卸資産 | 0 | | |
| その他 | 0 | | |
| 徴収不能引当金 | △ 89 | | |
| 資産合計 | 470,610 | 純資産合計 | 246,300 |
| | | 負債及び純資産合計 | 470,610 |

※ 下位項目との金額差は、単位未満の四捨五入によるものです。

行政コスト計算書

自 平成28年4月1日
至 平成29年3月31日

東大阪市[一般会計等]

(単位:百万円)

| 科目 | 金額 |
|-------------|-----------|
| 経常費用 | 173,682 ※ |
| 業務費用 | 66,295 ※ |
| 人件費 | 26,876 |
| 職員給与費 | 21,115 |
| 賞与等引当金繰入額 | 1,823 |
| 退職手当引当金繰入額 | 1,550 |
| その他 | 2,388 |
| 物件費等 | 36,141 ※ |
| 物件費 | 24,724 |
| 維持補修費 | 6,436 |
| 減価償却費 | 4,936 |
| その他 | 46 |
| その他の業務費用 | 3,278 |
| 支払利息 | 1,530 |
| 徴収不能引当金繰入額 | 282 |
| その他 | 1,466 |
| 移転費用 | 107,387 |
| 補助金等 | 19,184 |
| 社会保障給付 | 69,685 |
| 他会計への繰出金 | 18,272 |
| その他 | 246 |
| 経常収益 | 4,630 ※ |
| 使用料及び手数料 | 2,670 |
| その他 | 1,961 |
| 純経常行政コスト | △ 169,052 |
| 臨時損失 | 19,500 ※ |
| 災害復旧事業費 | - |
| 資産除売却損 | 307 |
| 投資損失引当金繰入額 | - |
| 損失補償等引当金繰入額 | 468 |
| その他 | 18,726 |
| 臨時利益 | 1,762 |
| 資産売却益 | 433 |
| その他 | 1,329 |
| 純行政コスト | △ 186,790 |

※ 下位項目との金額差は、単位未満の四捨五入によるものです。

純資産変動計算書

自 平成28年4月1日
至 平成29年3月31日

東大阪市[一般会計等]

(単位:百万円)

| 科目 | 合計 | 固定資産 等形成分 | 余剰分 (不足分) |
|----------------|-----------|--------------|--------------|
| 前年度末純資産残高 | 260,404 | 467,716 | △ 207,312 |
| 純行政コスト(△) | △ 186,790 | | △ 186,790 |
| 財源 | 169,676 | | 169,676 |
| 税収等 | 109,814 | | 109,814 |
| 国県等補助金 | 59,862 | | 59,862 |
| 本年度差額 | △ 17,114 | | △ 17,114 |
| 固定資産等の変動(内部変動) | | △ 3,133 ※ | 3,133 ※ |
| 有形固定資産等の増加 | | 8,042 | △ 8,042 |
| 有形固定資産等の減少 | | △ 5,672 | 5,672 |
| 貸付金・基金等の増加 | | 18,002 | △ 18,002 |
| 貸付金・基金等の減少 | | △ 23,506 | 23,506 |
| 資産評価差額 | - | - | |
| 無償所管換等 | 3,010 | 3,010 | |
| その他 | - | - | - |
| 本年度純資産変動額 | △ 14,104 | △ 123 | △ 13,981 |
| 本年度末純資産残高 | 246,300 | 467,593 | △ 221,293 |

※ 下位項目との金額差は、単位未満の四捨五入によるものです。

資金収支計算書

自 平成28年4月1日
至 平成29年3月31日

東大阪市[一般会計等]

(単位:百万円)

| 科目 | 金額 |
|-------------------|----------------|
| 【業務活動収支】 | |
| 業務支出 | 169,461 |
| 業務費用支出 | 62,074 |
| 人件費支出 | 26,978 |
| 物件費等支出 | 32,100 |
| 支払利息支出 | 1,530 |
| その他の支出 | 1,466 |
| 移転費用支出 | 107,387 |
| 補助金等支出 | 19,184 |
| 社会保障給付支出 | 69,685 |
| 他会計への繰出支出 | 18,272 |
| その他の支出 | 246 |
| 業務収入 | 169,548 ※ |
| 税込等収入 | 110,062 |
| 国県等補助金収入 | 54,901 |
| 使用料及び手数料収入 | 2,706 |
| その他の収入 | 1,880 |
| 臨時支出 | - |
| 災害復旧事業費支出 | - |
| その他の支出 | - |
| 臨時収入 | 3,101 |
| 業務活動収支 | 3,188 |
| 【投資活動収支】 | |
| 投資活動支出 | 16,348 |
| 公共施設等整備費支出 | 7,437 |
| 基金積立金支出 | 2,620 |
| 投資及び出資金支出 | 2,029 |
| 貸付金支出 | 4,262 |
| その他の支出 | - |
| 投資活動収入 | 9,639 |
| 国県等補助金収入 | 1,860 |
| 基金取崩収入 | 4,594 |
| 貸付金元金回収収入 | 2,518 |
| 資産売却収入 | 667 |
| その他の収入 | - |
| 投資活動収支 | △ 6,709 |
| 【財務活動収支】 | |
| 財務活動支出 | 16,596 |
| 地方債償還支出 | 16,596 |
| その他の支出 | - |
| 財務活動収入 | 19,416 |
| 地方債発行収入 | 19,416 |
| その他の収入 | - |
| 財務活動収支 | 2,820 |
| 本年度資金収支額 | △ 700 ※ |
| 前年度末資金残高 | 2,366 |
| 本年度末資金残高 | 1,666 |
| 前年度末歳計外現金残高 | 667 |
| 本年度歳計外現金増減額 | △ 55 |
| 本年度末歳計外現金残高 | 612 |
| 本年度末現金預金残高 | 2,277 ※ |

※ 下位項目との金額差は、単位未満の四捨五入によるものです。

注記

1 重要な会計方針

(1) 有形固定資産等の評価基準及び評価方法

① 有形固定資産 取得原価

ただし、開始時の評価基準及び評価方法については、次のとおりです。

ア 昭和 59 年度（道路敷地のみ昭和 61 年度）以前に取得したもの 再調達原価

ただし、道路、河川及び水路の敷地は備忘価額 1 円としています。

イ 昭和 60 年度（道路敷地のみ昭和 62 年度）以後に取得したもの

取得原価が判明しているもの 取得原価

取得原価が不明なもの 再調達原価

ただし、取得原価が不明な道路、河川及び水路の敷地は備忘価額 1 円としています。

② 無形固定資産 取得原価

(2) 有価証券等の評価基準及び評価方法

① 満期保有目的有価証券 償却原価法（定額法）

② 満期保有目的以外の有価証券

ア 市場価格のあるもの 会計年度末における市場価格

イ 市場価格のないもの 取得原価又は償却原価法（定額法）

③ 出資金

ア 市場価格のあるもの 会計年度末における市場価格

イ 市場価格のないもの 出資金額（※）

※出資金の価値が著しく低下した場合には、実質価格をもって貸借対照表価格としています。

（連結対象団体及び会計に対するものについては除く）

(3) 有形固定資産等の減価償却の方法

減価償却資産の耐用年数等に関する省令（昭和 40 年大蔵省令第 15 号）に定める定額法

(4) 引当金の計上基準及び算定方法

① 投資損失引当金

市場価格のない投資及び出資金のうち、連結対象団体（会計）に対するものについて、実質価額が著しく低下した場合における実質価額と取得価額との差額を計上しています。

② 徴収不能引当金

過去 5 年間の徴収不能実績率に基づき、徴収不能見込額を計上しています。

③ 退職手当引当金

自己都合による期末要支給額に基づき計上しています。

④ 損失補償等引当金

履行すべき額が確定していない損失補償債務等のうち、地方公共団体の財政の健全化に関する法律に規定する将来負担比率の算定に含めた将来負担額を計上しています。

⑤ 賞与等引当金

6月支給予定の期末手当及び勤勉手当並びにそれらに係る法定福利費相当額の見込額について、それぞれ本会計年度の期間に対応する部分を計上しています。

(5) リース取引の処理方法

① ファイナンス・リース取引

通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理を行っています。

② オペレーティング・リース取引

通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っています。

(6) 資金収支計算書における資金の範囲

地方自治法第235条の4第1項に規定する歳入歳出に属する現金としています。

(7) その他財務書類作成のための基本となる重要な事項

消費税及び地方消費税の会計処理は税込方式によっています。

2 重要な後発事象

(1) 主要な業務の改廃

該当なし

(2) 組織機構の大幅な変更

該当なし

(3) 地方財政制度の大幅な改正

該当なし

(4) 重大な災害等の発生

該当なし

3 偶発債務

(1) 保証債務及び損失補償債務負担の状況

他の団体（会計）の金融機関等からの借入債務等に対し、保証等を行っています。

| 団体名 | 確定債務額 | 履行すべき額が確定していない 損失補償債務等 | | 総額 |
|-----------------|-------|---------------------------|---------------|---------|
| | | 損失補償等引当金 計上額 | 貸借対照表 未計上額 | |
| 市立東大阪医療 センター | — | 468 百万円 | — | 468 百万円 |
| 計 | — | 468 百万円 | — | 468 百万円 |

(2) 係争中の訴訟等で損害賠償等の請求を受けているもの

係争中の訴訟等で損害賠償等の請求を受けている主なものは次のとおりです。

東大阪簡易裁判所 平成 29 年 (ハ) 第 213 号

損害賠償請求事件 690 千円

4 追加情報

(1) 対象範囲 (対象とする会計名)

一般会計、奨学事業特別会計、公共用地先行取得事業特別会計、火災共済事業特別会計、母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計、病院事業債管理特別会計

(2) 地方自治法第 235 条の 5 の規定により出納整理期間が設けられています。当会計年度に係る出納整理期間 (平成 29 年 4 月 1 日～5 月 31 日) における現金の受払い等を終了した後の計数をもって会計年度末の計数としています。

(3) 各項目の金額を表示単位未満で四捨五入しているため合計等の金額が一致しない場合があります。

(4) 地方公共団体財政健全化法における健全化判断比率の状況

| 実質赤字比率 | 連結実質赤字比率 | 実質公債費比率 | 将来負担比率 |
|--------|----------|---------|--------|
| — | — | 4.7 % | 8.5% |

(5) 繰越事業に係る将来の支出予定額

| 区分 | 金額 |
|--------|-----------|
| 翌年度繰越額 | 5,053 百万円 |

(6) 売却可能資産に係る資産科目別の金額及びその範囲

売却可能資産の範囲は、翌年度予算において、財産収入として措置されている公共資産としています。今年度は、該当する資産はありません。

(7) 地方交付税措置のある地方債のうち、将来の普通交付税の算定基礎である基準財政需要額に含まれることが見込まれる金額

202,243 百万円

(8) 将来負担に関する情報 (地方公共団体財政健全化法における将来負担比率の算定要素)

| | |
|---------------------------|-------------|
| 標準財政規模 | 106,434 百万円 |
| 元利償還金・準元利償還金に係る基準財政需要額算入額 | 13,645 百万円 |
| 将来負担額 | 329,608 百万円 |
| 充当可能基金額 | 25,170 百万円 |
| 特定財源見込額 | 94,267 百万円 |
| 地方債現在高等に係る基準財政需要額算入見込額 | 202,243 百万円 |

(9) 純資産における固定資産等形成分及び余剰分（不足分）の内容

貸借対照表の純資産における固定資産等形成分とは、資産形成のために充当した資源の蓄積をいい、固定資産の額に流動資産における短期貸付金及び基金を加えた額を計上しています。また、余剰分（不足分）とは、費消可能な資源の蓄積（原則として金銭）をいい、流動資産（短期貸付金及び基金を除く）から負債を控除した額を計上しています。

(10) 基礎的財政収支

| | |
|--------------------|-------------------|
| 業務活動収支（支払利息支出を除く。） | 4,718 百万円 |
| 投資活動収支 | <u>△6,709 百万円</u> |
| 基礎的財政収支 | <u>△1,991 百万円</u> |

(11) 既存の決算情報との関連性

| | 収入（歳入） | 支出（歳出） |
|-------------------------|-------------|-------------|
| 歳入歳出決算書（一般会計） | 202,101 百万円 | 200,907 百万円 |
| 財務書類の対象となる会計の範囲の相違に伴う差額 | 2,665 百万円 | 2,195 百万円 |
| 前年度繰越金相当額 | △2,365 百万円 | 0 百万円 |
| 一般会計等構成会計間の繰入金・繰出金の相殺消去 | △697 百万円 | △697 百万円 |
| 資金収支計算書 | 201,704 百万円 | 202,405 百万円 |

(12) 資金収支計算書の業務活動収支と純資産変動計算書の本年度差額との差額の内訳

| | |
|----------------|-------------|
| 資金収支計算書の業務活動収支 | 3,188 百万円 |
| 減価償却費 | △4,936 百万円 |
| 出資金 | △15,946 百万円 |
| 徴収不能引当金の増減額 | 54 百万円 |
| 退職手当引当金の増減額 | 112 百万円 |
| 賞与引当金の増減額 | △10 百万円 |
| その他の資産・負債の増減額 | 424 百万円 |
| 純資産変動計算書の本年度差額 | △17,114 百万円 |

(13) 一時借入金の状況

資金収支計算書上、一時借入金の増減額は含まれていません。

なお、一時借入金の限度額は次のとおりです。

| | |
|-----------|------------|
| 一時借入金の限度額 | 35,000 百万円 |
|-----------|------------|